

シルバー だより

第 68 号

発行日 令和4年10月1日
発行者 公益社団法人
宇都宮市シルバー人材センター
事務局 宇都宮市中央1-1-15
電話 028-633-5300
E-mail utsunomiya@sjc.ne.jp

屋内施設管理



屋外施設管理



屋外施設管理
(ミニ機関車運転)



魅力あるセンターづくりを目指して



目次

○定時総会・表彰式・役員交代	1
○インボイス制度について	2
○会員の声・安全パトロール	3
○地域貢献・就業現場訪問	4
○事務局だより	5



令和4年度第43回定時総会報告

令和4年6月10日（金）午後1時30分より、宇都宮市総合福祉センター大会議室において、第43回定時総会が開催されました。

今回も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催し、会員の皆様には委任状や議決権行使書の提出により参加をお願いしました。

総会の前に、永年、当センターの役員としてご尽力いただきました松本副理事長外13名の方々が表彰されました。引き続き総会が開催され、令和4年度事業計画・予算について報告の他、議案審議を行いました。総会で承認された議案は次のとおりです。

- 【議案第1号】 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター定款の一部改正について
- 【議案第2号】 令和3年度決算について
- 【議案第3号】 役員の選任について

令和4年度 表彰者（敬称略）

【役員表彰】

松本 秀郎 鈴木 カツ子
下川 秀子 直井 俊夫

【会員表彰】

阿久津 洋司 藤田 幸一
猪熊 和夫 古橋 尚夫
大谷津 サト 松野 昭子
神山 恒好 山本 勝昭
長嶋 正義 匿名希望



役員表彰

お世話になりました！

役員交代（敬称略）

【退任】（令和4年6月10日付） 松本 秀郎 下川 秀子
鈴木 カツ子 直井 俊夫

新役員（任期：令和4年6月～令和6年度定時総会終結時）

再任	理事長	石川 元信	副理事長	武田 親樹	理事	緒方 秀徳
	理事	深澤 雄一	理事	神山 俊夫	理事	佐藤 清
	理事	高橋 京子	理事	富 隆史	理事	三森 由美
	理事	山崎 登	理事	渡 宏一		
	監事	小池 正則	監事	袖野 守康		
新任	専務理事	橋本 敦生	理事	卜部 弘子	理事	大貫 健二
	理事	大貫 祐一	理事	坂寄 秀夫	理事	佐藤 好子

インボイス制度について

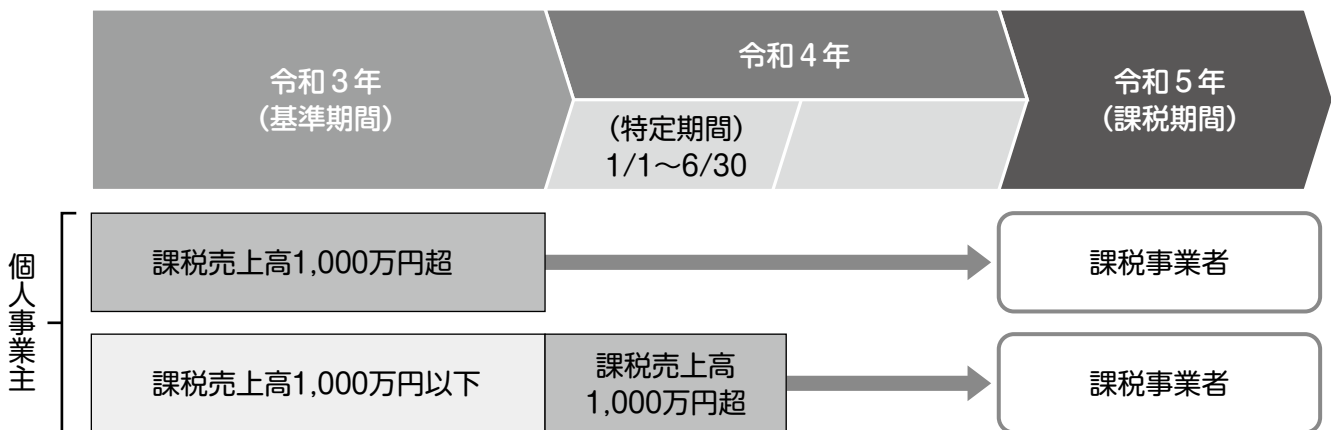
インボイス制度とは消費税に関係する制度のことで、シルバー人材センターの運営と請負で働く会員にどのようなことが生じるのかまとめてみました。

会員に対しては

就業会員には請負契約に基づき働いた対価として配分金が支払われています。この配分金には内税として消費税が入っており、また就業会員は、いわゆる個人事業主として仕事をしますので消費税納税義務者になります。しかしながら、基準期間（※）における配分金を含めた年間の課税売上額が1,000万円以下の事業主は納税義務が免除されます。1,000万円を超える年間の課税売上がある会員は皆無であると考えられますので、結果として消費税の納税義務は免除され新たな負担は生じません。

※個人事業主の場合、基準期間は課税期間の前々年を指す。

(令和5年が課税期間となる例)



センターに対しては

現在のセンターの消費税納税額は、配分金に係る消費税が仕入税額控除の対象になるため、令和3年度は約1,000万円でしたが、インボイス制度が導入されますと、配分金のうち消費税分が仕入税額控除の対象にならないため、センターの消費税の納税額は約4,600万円とかなり増えることとなります。このことは、センターの経営に多大な影響を及ぼすこととなります。端的に言いますと、免税事業者である会員の皆さんから消費税分を控除できませんので、センターの消費税増額分約3,600万円を納めるための財源が無いということです。その財源確保をどうするか、今後当センターで検討、方針を決定し、改めて情報を提供いたします。

会員の声

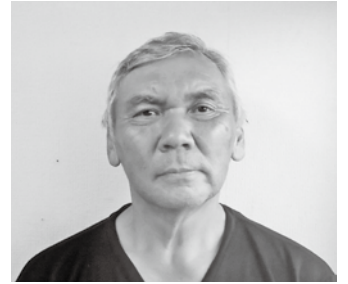
いきいきと活動する会員の方々をご紹介します。

『私がシルバーに入ったきっかけ』 上河内地区 神山 和康

シルバーにお世話になって3年目になります。先に会員になっていた兄に「入って見ないか？」と誘われ、私が「いいよ。」と返事をしたことで早速入会することになりました。

4月に入会し、最初の仕事は7月で、小学校横の市営グラウンドでした。何も知らない私はジーパンにTシャツ姿で、手差しと手袋は兄に借りて除草作業に参加しました。先輩方が仕事を教えてくれたり、声をかけてくれたりしました。それから徐々に上河内の他の班や河内地区の班のことが分かり始めて今に至っています。

私は前職が調理の仕事をしていたので、調理のことしか知りませんでした。シルバーの先輩方の指導（技術面、精神面）で色々勉強をさせてもらいました。私がいつも感心させられるのは、どの班も夏の暑い盛りでも一生懸命頑張っている姿です。私の第二の人生（仕事）に気づかせてくれたのも先輩方のおかげとっております。皆様にとただ感謝です。これからも喜(怒)哀楽で頑張りますので宜しくお願い致します。



『私のシルバー人生』 雀宮地区 南木 スミエ

私は72才で自営の仕事を退職しました。その後はコーラスで歌ったり、音楽を聴いたり、山を歩いたりの日々でした。シルバー人材センターに登録した時に、私は何も出来ない人間であることに気がつきました。登録後に初めてした仕事はレストランの皿洗いでした。その後、事務局の方の助言を受けて「介護予防・生活支援サービス従事者養成研修」を受講しました。そして、現在は週2回の家事援助の仕事をしています。

高齢の方のサポートをしていると、老々介護だなどと思いますが、そんな中でも自分なりの幸せな時を感じられる日々を送ることができています。「役に立つこと」「必要とされること」等に感謝して「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのまま」前を向いて進んでいけると思います。

この度、会員互助会に新たに発足した「ハイキングクラブ」に入りました。このクラブが出来た事が私の背中を押してくれることを大いに期待しております。



安全パトロール実施報告

センターの「安全就業強化月間」である7月に行われた、安全パトロールの様子をご報告します。



駐輪場



清明館



クリーンセンター下田原（剪定枝受入）

この他に7か所の現場を訪問し、おおむね適正な業務が行われていることを確認しました。

（今回は、コロナ感染者急増の状況を考慮し、理事は同行せず職員のみでパトロールを実施しました。）

地域貢献

済生会宇都宮病院看護専門学校の1年生の皆さんが、授業の一環であるフィールドワークのため、8月8日に河内農業構造改善センターの除草作業の体験に来ていただきました。



手際が良いと褒められました

リラックスした雰囲気



除草作業体験の後に、休憩をとりながら座談会が行われました。学生さんからは「会員になるきっかけは?」「仕事をしてうれしかったことは?」などの質問があり、会員の皆さんは、身の上話も織り交ぜながら、一人一人熱心に答えていました。

センターでは今後も、このような地域の方々との交流を大切にしながら活動していきたいと思っています。

除草班の方々、ご協力ありがとうございました。



就業現場訪問

今回は、陽南にある栃木県立がんセンター駐車場管理業務の現場を訪問してお話を伺いました。

Q 就業内容を教えてください。

A がんセンターを利用される方の駐車場の管理をしています。A班4名、B班4名が交替で就業しており、約220台の車が停められる駐車場の入退場管理と場内の清掃が主な業務です。

Q 就業中、どのようなことを心掛けていますか?

A 多くのお客様にお会いする場所なので、制服を正しく着用することはもちろん、言葉使いには十分に注意し、丁寧かつ明るくはっきりご案内するよう努めています。ご利用のお客様からは、「ありがとうございます」「お世話様」等、声を掛けて頂きますが、急いでいる方が多いので、速やかな対応が出来るよう常に心掛けています。



(左から 松本さん、清水さん)

駐車場を利用される方が大変多く、私たちの訪問中もはっきりなしに車が入り出していました。そのような中でも、お客様の安全に配慮しながら、快く対応していただき、ありがとうございました。



取材先を
随時募集しています。